



一般財団法人 防府消化器病センター

防府胃腸病院

防府胃腸病院 広報誌

2015年11月 第7号



医療と地方創生

「山口県人口ビジョン中間報告」によりますと、山口県の総人口は昭和 33 年の 162 万人（推計人口）をピークに減少し、現在約 140 万人となっています。

現在の合計特殊出生率 1.56 で推移すると、平成 72 年には本県の将来人口は約 81 万人まで減少すると推計されています。

さらに、少子化とともに 10 代後半から 20 代前半年齢層の県外への流出が著明であり、回帰傾向が少ないことも人口減少の大きな要因となっています。

県は、地域の産業を振興し、若者の雇用の受け皿を創出し、県外からの移住を促進、子育て環境の整備を図ることで、戦略的に地方創生に取り組んでいますが、実効性のある具体策を早急に開始しなければ、近い将来、沈みゆく地方県になりかねません。

医療、介護は大きな雇用の受け皿となり得る分野と考えられています。

さらに今後健康保持、疾病予防の分野を充実させることで、10 年後の医療費を約 3 兆円削減できるとの試算もあります。

山口県をもっと輝かせるために、私たち医療機関は、医療・介護と保健の取り組みの中で、各地域における町づくり、人づくりと並行して、将来に向けてのしっかりとした地域医療構想を提案していく責務があります。皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。



一般財団法人防府消化器病センター 防府胃腸病院長

三浦 修

チーム医療のなかで ～ 薬剤師は今 ～

初めての6年制薬剤師が卒業して、今年で4年目になりました。

私たち薬剤師に今求められているもの。それは、安心して安全な医療を提供するために、責任を持って医療チームの一翼を担うことではないかと思います。そのためには、具体的に、今、何をすればよいのか。

時代の流れや医療環境の変化に応じ、薬剤師の役割もさまざまに変遷しています。

20年前、薬剤師は閉ざされた薬局で、主に製剤や調剤といった直線的な業務を行っていました。

その後の急激な医療高度化によって、医師を中心とした様々な職種でチームを組むことが必要となり、病院薬剤師の業務も服薬指導そして病棟常駐へとその形態は進んでいます。

患者さんにより近く寄り添った業務が始まり、そして今では、入院患者さんのそばには薬剤師という環境になりつつあります。

また、2025年に向けて、地域全体がひとつの医療連携システムとして繋がり、ご自宅の自室を病室としても、安心して療養できるような医療介護提供体制を整えていかなければならない時代となりました。

そして今、広い視野で有機的に繋がるために薬剤師の役割も変わりつつあります。

防府胃腸病院では以前より臨床薬物療法に密着して業務を行っていますが、今後は、更に発展させ、患者さんが服用しやすいよう一包化調剤を増やし、また、院内の医薬品を総合的に安全管理していくシステムなどをレベルアップしてまいります。

高度化するがん化学療法剤などの医薬品、また、たくさんの方が服用されている日常のお薬それぞれに、軽微なものから重篤なものまで、副作用が発現する可能性がゼロではありません。

日々、薬の専門家たる薬剤師が副作用の早期発見に努め、重篤化する前に対処していく体制を作り上げること、それが安心して治療を受けて頂くための礎となれと思っています。

当院に着任して4ヶ月目となりました。患者さん、地域の方々、ともに働く方々、それぞれのお言葉にしっかりと耳を傾けて、思いを伝え合うことで、ますます温かみのある薬剤業務を目指してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



薬剤部長 栗林 左知

便もれやスキントラブルで悩んでいませんか？

便もれやスキントラブルで悩んでいませんか？

当院では、ストーマを造設した患者さまや、瘻孔やドレーン留置などによりスキンケアが必要な患者さまを対象に、**毎週火曜日ストーマ外来**を行っています。

便漏れやスキントラブルで悩まれている方をはじめ、術後のストーマのサイズ変化や体型の変化によって合わなくなった装具に気がつかずに使用されている患者さまなど、いろいろなご事情で悩まれている患者さまに対しても真摯に向き合い、専門的な知識と技術で適切に対処いたします。

他院で手術をされた患者さまや、しばらくストーマを診てもらっていないという方でもストーマ外来を受診することができますので、困ったことがあれば気軽に当院を訪ねていただければと思います。

皮膚排泄ケア認定看護師 1 名を含む専門スタッフ 3 名が、笑顔と真心を持って対応させていただきます。



内視鏡検査・治療の受診について

当院では今年の春より、最新の内視鏡システムを導入いたしました。

光学拡大観察が可能となり、NBI（狭帯域光観察）と組み合わせ微細な血管や粘膜模様をリアルに再現し、詳細な観察ができることで、より確実な診断に繋げることができるようになりました。

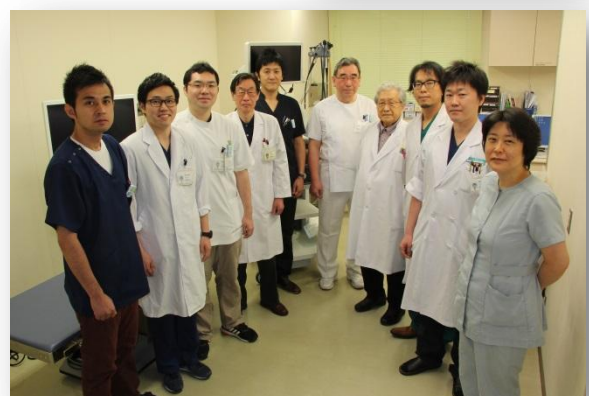
さらに従来品に比べ、先端が約 1 ミリ細く、しなやかな形状となったことで、患者様の苦痛が軽くなることが期待されます。

ご希望に応じて経鼻内視鏡や鎮静剤を使用した方法も行っており、柔軟に対応させていただきます。詳しくはお問い合わせください。



月曜日から土曜日まで、前日午後 9 時から**絶食**であれば、当日予約なしで胃内視鏡検査（胃カメラ）が可能です。ご希望の方は、午前 10 時までにお越しください。

月曜日・火曜日は、九州大学・山口大学より内視鏡専門の医師が来院し内視鏡検査しています。また、火曜日は治療を主にを行っていますので、事前にご相談ください。



内視鏡検査 担当医	月	火	水	木	金	土
九州大学第二内科 前畠裕司 池上幸治 平野敦士	○					
山口大学大学院 保健学科 基礎検査学 教授 西川 潤		○				
岡崎幸紀（日本消化器内視鏡学会指導医）	○		○		○	
常勤医師	○	○	○	○	○	○

外 来 診 療 予 定 表

(2015 年 11 月現在)

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1 診	三浦	三浦	小西	南園	三浦	
	2 診						
	3 診	竹尾	小西	竹尾	三浦	小西	交代制
	5 診	柿本	古野	日高	竹尾	豊島	交代制
	6 診	豊島	日高	柿本	古野	柿本	交代制
	7 診	南園		南園		戸田	
午後		交代制	戸田	戸田	戸田	南園	休診

診療日時		受付時間	診療時間
平日	午前	8 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0	8 : 3 0 ~
	午後	1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0	1 4 : 0 0 ~
土曜日	午前	8 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0	8 : 3 0 ~

※月曜日の午後及び土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。

当院では、木曜日の午後も診療しています。

土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。

出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。

担当医が不在の場合は代替りの医師にて診療を行います。



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33

TEL : 0835-22-3339 (代表)

H P : <http://www.hofu-icho.or.jp>

■交通機関のご案内

【電車】 JR 防府駅よりバス 2 分 (防府市役所前下車)

または JR 防府駅より徒歩 1 0 分

【バス】 防府市役所前下車

【お車】 山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから 10 分

★地域連携室から ★

地域連携室では、地域連携や在宅医療の充実を図り、患者様が住み慣れた場所でその方らしく生活できるようサポートいたします。お気軽にご相談ください。

地域連携室 TEL : (0835) 22-3339 (代表) FAX : (0835) 25-8754 (直通)

担当 : 中村、三宅、岡屋